

## 「学長のことば」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

オンライン映像を通じてご参加いただいておりますご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。神戸女学院大学の教職員を代表して、入学のお祝いを申し上げます。

まず、今年度の入学式を予定通り開催できることを嬉しく思っています。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により入学式を挙行することができませんでした。今日なお感染拡大は続き、収束に至るには時間を要するとのことで、私たちは不安と緊張感がありますが、ここ岡田山キャンパスで皆さんの新たな人生の節目に直接立ち会えることは喜びに堪えません。

さて、皆さんが学ばれる神戸女学院大学は、150年に近い歴史と伝統をもつ大学です。今から146年前の1875年、アメリカから来られた二人の女性宣教師イライザ・タルカット先生、ジュリア・ダッドレー先生により創立されました。以来、本学は日本における女性教育をリードし、数多くの卒業生を世に送りだしてきました。

卒業認定・学位授与の方針であるディプロマ・ポリシーというものがありますが、「本学は、学院標語「愛神愛隣」に基づいて、置かれた場で時代の潮流に流されることなく利害を超えて自らの役割を果たす、他者と深く共感する人格を養成します。」と謳っています。これまで卒業生の方々は、それぞれがこの言葉を体現して活躍されてきました。新入生の皆さんお一人お一人も、将来この良き伝統に連なる一員になって頂きたいと願います。

先ほど挙げましたように、神戸女学院大学は「愛神愛隣」という学院標語を掲げています。「神を愛し、隣人を愛する」ということです。在学中に、さまざまな機会を通じてこの標語の理解を深めていただきたいのですが、いま、あえて簡潔に申しますと、自分を自分自身の幸せや喜びのためにだけでなく、他者（隣人）の幸せや喜びのために用いるということだと思います。

このような人となるためにも日々の学びに励んでください。学びは、自らのためであるのはもちろん、隣人のため、社会のため、世界のために用いられるのです。その意識をもって意欲的に学んでください。

具体的には、大学での学びを進めるための基礎能力を高め、専門知識を増やしていきましょう。その際には正確な知識を得ることが重要です。今やネットの検索で何でも調べられる時代となっていますが、誤った情報や偏った思考が掲載されていることが少な

くありません。その真偽も確かめずにそれらを用いて自分の考えを語り、行動するといった例もしばしば見られます。それは単なる個人の間違いといったことに留まりません。偽りの情報により偏見や差別、争いを生み出すことにも至る場合もあるのです。そうならないために正確な知識を獲得することに努めましょう。正確な知識を用いて自分の意見や判断を示すことを意識してください。

加えて、専門分野のみならず様々なことに関心を広げ、知識の幅を広げていくことも重要です。本学のリベラルアーツ教育はそれを支えています。異なる視点を得ることで専門の学びが深められることや、新たな創造へのきっかけが与えられることにも繋がると思えます。異なるものとの対話が重要であることを知るきっかけにもなることでしょう。

知識を積み重ね、その幅を広げる営みにより、知性が育まれることとなります。知性とは物事を知り、考え、判断する能力です。「判断力」は、先行きが不透明な時代においてますます重要となります。この知性の育成が大学の使命であります。

皆さんの知性の育成のために本学は素晴らしい学修環境が整っています、少人数教育で教職員が丁寧に細やかな指導やサポートを行います。女学院には先輩や友人、後輩と共に励まし合い、支え合う学風があります。そして国の重要文化財であるヴォーリズ建築をはじめとする学舎も、皆さんの掛け替えのない学生時代を支えてくれることでしょう。

どうか皆さんの未来の確かな土台となる充実した時間を、この神戸女学院大学で過ごしてください。神様の祝福をお祈り申し上げつつ、「学長のことば」といたします。